

<アンコール曲は ディアンス作曲 タンゴ・アン・スカイ でした>

1985年に出版され、またたく間に流行した〈タンゴ・アン・スカイ〉は、現在でもディアンスの作品のみならず、クラシックギター全体のレパートリーの中でも最もポピュラーな曲のひとつとして広く親しまれています。ギターならではの即興的なフレーズが随所に見られ作曲家自身も、「(1978年に)パリで行われたパーティのときに即興演奏したもの」と出版譜の裏表紙に記しています。

タイトルの“スカイ”は、「なめし皮」を意味するフランス語だとしばしば解説されますが、正確には1960年代にドイツの皮革メーカーが製造していた合成皮革の登録商品名で、そこから派生して「偽物の革」などを指す表現となりました。いずれにしろ、天然でない人工的な「タンゴ」だというニュアンスがこのタイトルにこめられています。

米子労音2017年度

# 1月例会

## 感想集

### 朴 葵姫 ギターリサイタル



交流会を終えて



例会を終えて

#### 例会評価

- 会員数 402名
- サークル数 49c
- 参加者数 333名  
(参加率) 82.8%
- 例会評価投票数 150  
(投票率) 45.0%
- 評価点 97.0point
- 新入会 63名

今回の例会は  
私たちが運営を  
担当しました

- ・ずっこけパンダ
- ・ナエマ
- ・ヒッコ
- ・プラスα
- ・プレリユード
- ・マズルカ
- ・まっかな雲竹
- ・髷物倶楽部
- ・ゆきんこ
- ・リラ
- ・和田

2018年1月21日(日)  
午後2時 開演  
米子市文化ホール

せっかくのパク・キュヒさんの公演なのに空席が目立ったこと、観客の方々の年齢層が高いことにもったいなく感じました。地域の若い方へのPRをされてるのかな？SNSを活用したり、スサノオマジックのように学校を通じて子供招待（親は有料）など、又、うさみみ、リビエールなどのPRなど、労音自体のPRも、若い世代にはとどいてないと思いました。もったいない・・・。

(匿名希望)

疲れた様子も見せず、気軽にサイン会に応じるパクさん



サイン会もやっと終盤にさしかかり

私は学生時代と今マンドリンをしています。同じクラブの親友がギターで、いろいろな曲をきかせてくれました。今日のプログラムにもあった曲もありました。なつかしく聴かせて頂きました。やっぱりトレモロすてきです。Youtubeでは見てはいたのですが、生ははじめてです。お逢いできてとても嬉しいです。待っていました。

交流会は和やかに！  
思わぬ話も聴ける！



## 音楽を外に連れ出そう!!!

少なくとも今の私にとって、例会担当をすることほど充実感を得られることは無くなってしまった。1月例会を終えて心地よく後を振り返っている。もちろん反省点は多々あるが・・・

特にギターが好きというわけでもないが運営担当となる。ここなら演奏者の人気もあり、少しでも多くの会員さんと例会を迎えられるかも？と言った程度だ。しかし何事にも首を突っ込んでみるものだ。初めてこのたびのプログラムを見ると、つい先ごろ全くの別目的で旅行を思いつき、すっかり魅せられたスペイン国の地名がいくつか並んでいる。そうか、ギターという楽器はスペインのあの風土の中で育てられてきたのだ。音楽にはそれがつくられた土地の文化が宿っている。自分勝手な想像であるにしても、そのような気づきにハッとさせられ、うれしいものだ。

この感動を会員の皆様方に伝えることはできないものか。ここで写真をお見せしようとの手前味噌が頭をもたげたわけだ。そのことから、演奏者の朴葵姫さんも写真好きであることを知り、妄想が膨らむ。演奏とともに写真を投影することはどうだろう。ホールをより居心地の良いものとしてできないものか。結局そのことは会場の都合で実現には至らなかった。しかし今思うに、演奏のみに集中できて良かったのかも知れない。

もっとも運営担当となると、ステージとは別に気をそがれることがある。しかしこのたびは、それぞれのサークルからの協力は絶大で、気持ちよくこの日を迎え、終えることができた。一人の力では取れない。お互いの支えがあって結実する。担当サークルのある方が本を紹介された。この本にも大きく心を揺さぶられた。ピアノコンクールを舞台としたフィクション小説だ。何気なく読みだしたが、もう止まらない。その中で、天才少年“風間塵”がつぶやく。「音楽を外に連れ出すにはどうしたらいいんだろう。僕にそれができるのかなあ・・・」私は演奏家ではないが、その言葉に興味をひかれ、自分自身の課題として考えてみたい。このたびの取り組みとこの言葉には、何か引き合うものがあるように思える。うまく説明はできないが・・・

初めての最前列で、音を直接とらえ、表情を楽しむ。その後の交流会は盛会に過ぎ、見送りも済ませた。今一足遅れてきた寒波の中で、ホッと胸をなでおろしながらこれを書いている。次の担当はどこにしようか。



運営担当に出しゃばり、  
交流会に参加すること  
によって得られる特典